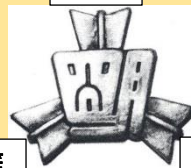


明倫小コミスクだより

H30 年度第 9 号 平成 31 年 1 月 25 日 萩市立明倫小学校

学校



家庭

地域

明倫小コミスクAPDOA

後期学校評価の結果を受け、 来年度に向けてのアクションが起こされました

本校では、三者（学校・家庭・地域）協働でよりよい学校づくりをしています。2 学期は、前期学校評価（7 月）から出てきた課題を踏まえ、三者協働の 5 つのプロジェクトが、それぞれ積極的に取組を展開してきました。そして、12 月には、その成果をチェックするために後期学校評価が実施され、このたび結果が出ました。

5 つのプロジェクト部会では、この結果を分析し、今年度の取組の成果と課題についてまとめを行ったところです。また、1 月 16 日（水）の学校運営協議会の日には、学校運営協議会の前に、「来年度に向けての提案熟議」が開催され、学校評価結果及びプロジェクトからの報告をもとに、委員さんをはじめ P T A 役員さん、教職員の総勢 36 名による活発な議論がなされました。そして、その後の学校運営協議会では、熟議された内容の検討・整理が行われました。最終的には、次回の学校運営協議会で「学校運営協議会からの提言」としてまとめられることになっています。

今回のコミスクだよりでは、後期学校評価結果と各プロジェクトからの報告について概要をお知らせします。このたびの後期学校評価では、町内会長さんにもアンケートに答えていただきました。保護者の皆様をはじめ各家庭や地域の皆様からのご回答、誠にありがとうございました。

- 1 ひたむきな子 児童はめあてに向けて頑張ろうとしている
〔児童 93%、保護者 89%、地域住民 100%〕

松陰先生の言葉を家で教えてくれます。



- 2 ぬくもりのある子 児童は友達と仲良く学校に行くことができる
〔児童 94%、保護者 97%、地域住民 100%〕

このまま素直にたくさんの友達と仲よくしてくれることを願っています

- 3 さわやかな子 児童は自分から進んで元気なあいさつができる
〔児童 83%、保護者 74%、地域住民 71%〕

挨拶が苦手でしたが、周囲の大人や友達に触発されて少しずつできるようになってきています。本人のやる気も大切ですが、周りが環境をつくることの重要性も感じました。

◆心の教育プロジェクト部会より

- ・特に 1、2 年生がよく挨拶ができています。
- ・挨拶が習慣化している児童とそうでない児童の二極化が見られます。
- ・挨拶の意義や実践について話し合う機会を設け、代表委員会でも取り上げます。

萩そして明倫小の良いところについて話し合う機会が子供の成長とともに増えてきました。

4 明倫小や萩のよさを話した

〔児童81%、保護者66%、教職員（実施内容を保護者に伝えた）89%〕



◆明倫教育プロジェクト部会より

- 学校評価の回答のうち、最も肯定的な「4：よく当てはまる」が増えました。
- 2学期のふるさと学習を充実させ、「わくわく明倫発表会」「ふるさと学習ブース」でも内容を工夫して行うことができました。
- 3学期、1年生の昔の遊びの学習では、河添長福会の皆様も指導に加わってくださる予定です。

5 児童は自分の力を伸ばすというめあてをもって家庭学習に取り組んでいる

〔児童85%、保護者76%、教職員（適切な働きかけをした）100%〕

計画的に家庭学習ができるように、スケジュール表の配付があり、取組が具体的でとてもよかったです。

◆学力向上プロジェクト部会より

- 児童は高い肯定率を維持しています。保護者の肯定率も伸びました。
- 学級懇談会で家庭学習についての意見交換をしたことなどにより、保護者の意識が高まりました。

6 ◆体づくりPRJ 児童は正しい姿勢で食事をしている

〔児童81%、保護者60%、教職員57%〕

食事の姿勢その他、家でどのように声掛けをすればいいか親向けの指南があるといいです。

7 ◆体づくりPRJ 児童は学校外で週2回30分以上運動（運動遊び）をしている

〔児童84%、保護者76%、教職員（適切な働きかけをした）92%〕

寒い日も外気に触れる機会をつくりたいものです。

◆体づくりプロジェクト部会より

- 「正しい姿勢で食事」「家での運動（遊び）」のどちらも、前期とあまり変わっていません。
- 運動の講師に保護者や地域の方を招いたり、苦手な運動に自然にかかわれるような環境を工夫したりしていきます。

8 ▼小中連携の取組 児童は正しい鉛筆の持ち方をしている

〔児童82%、保護者72%、教職員64%〕

鉛筆の持ち方は正しいですが、角度が前のめりになっています。意識をしてほしいです。

9 □地域参加 児童は地域の行事に参加している

〔保護者83%、地域住民95%〕

参加する子供とそうでない子供に分かれています。町内でレクリエーションを計画し親睦を図っています。

10 ◆環境クリーンPRJ 児童は静かに時間いっぱい掃除ができた

〔児童88%、教職員87%〕

◆環境クリーンプロジェクト部会より

- 整美委員会が掃除反省カードの集計をし、全校放送で知らせたことで、「静かに掃除」の意識が高まりました。
- 掃除ボランティアの方と一緒に楽しく掃除に取り組みました。今後もマチコミでボランティアを呼び掛けます。

